

令和8年第1回 幸手市教育委員会定例会会議録						
招 集 期 日		令和8年1月20日（火）午前9時30分				
開 会 場 所		幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室				
開会の日時・宣告者		令和8年1月20日（火）午前9時30分			山 西 実	
閉会の日時・宣告者		令和8年1月20日（火）午前11時15分			山 西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出 席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出 席
	職務代理者	会 田 研 司	出 席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出 席
	教 育 委 員	高 島 勝 也	出 席	教 育 委 員	林 晴 実	出 席
傍聴人：0人				書 記：佐々木 千晶・坂本 康太		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄				
	教育総務課長	大 竹 孝 典				
	学校教育課課長	中 沢 朋 宏				
	社会教育課長	小 山 紀 子				

会 議 事 件 名	顛	末
<p>開 会 午前 9 時 30 分</p> <p>日程第 1 前回会議録の承認</p> <p>日程第 2 協 議 事 項 幸手市の教育の未来 について</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和 7 年第 12 回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。 《質疑》 質疑なし。 《承認》 全員異議なく承認。</p> <p>教育長 幸手市の教育の未来について、委員の皆様の思いや考えについて、フリートークの形で聞かせていただきたい。 《質疑》 藤沼委員 2030 年からの 10 年間は団塊の世代に対する扶助費の割合が増加する可能性がある。築 30 年以上の教育施設が 13 施設もあり、税収を十分に充てられない状況が見受けられるので早めに対策してほしい。 市町村教育委員会協議会の会議に参加した。様々な自治体の教育委員と意見を交わしたが、教職員に対する働き方改革及び給与の昇給が今後の課題になってくる。 全世代型社会保障を実現するためには、地域の人との関わりを増やして、横割りのつながりを構築していく必要がある。地域の人を巻き込んでいくことで、大きな事業になり、税収の確保にも繋がる。</p> <p>高島委員 日本でのものづくり産業は人件費の関係で衰退している。現状は人件費の安い国へ依頼している。 教育の中で「主体的に取り組む探究的な学び」を重点的に児童・生徒に学んでもらいたい。そのためにも、教職員の資質の向上が大切である。 私自身も退職後に大学院に行ったが、校長時代に行っ</p>	

	<p>ていればよりよい学校経営ができたと感じた。</p> <p>児童・生徒だけではなく、教職員にも学習できる場を設けてあげないと、「主体的に取り組む探究的な学び」ができる授業はできないと考えている。</p> <p>古沢委員</p> <p>子どもたちの間でシール交換が流行っている。友達とのシール交換で相手の気持ちを考えて交渉する力やコミュニケーション力が培われている。シール交換を通じて、失敗から学ぶこともあるため、結果だけを求めるのではなく何事にも挑戦してほしい。</p> <p>デジタルが当たり前になっている今、ものに触れるといったアナログも子どもたちにとっては大切になるため、デジタルとアナログの共存が必要になってくる。</p> <p>教育長</p> <p>教育の中でデジタルとアナログの共存が必要不可欠になってくる。他の自治体では黒板がない学校もある。</p> <p>林委員</p> <p>生命（いのち）の安全教育において、相談先が存在することと、実際に相談できることとは全く別である。本当に困った状況に置かれたとき、人は容易に相談できるものではない。</p> <p>子どもへの指導のみにとどまらず、教職員が被害に遭わないよう配慮するとともに、万が一事象が発生した場合には相談につなげられるよう、組織としてどのように行動すべきかを検討していく必要がある。</p> <p>会田職務代理者</p> <p>令和9年4月から幸手市立東小中学校が開校することと併せて、今まで長距離登校していた児童がスクールバスで登校することによって、安心・安全に登校できるといったところに注目したい。</p> <p>また、同一敷地内に小・中学生が一緒になることで、小・中学生を交えた授業の展開による学力向上や、行事や体験活動などといったイベントの実施によりプラスの影響を与えるのか期待をしたい。</p> <p>今まで中学校の部活動で燃え尽き症候群が多かったが、これからは地域のクラブ活動で週2～3日で行い、好きなことを長く続けていくということが大切になる。スポーツだけではなく、芸術や音楽など自分に合った趣味</p>
--	---

<p>日程第 3 議案第 1 号 幸手市立</p>	<p>を見つけて続けてほしい。</p> <p>そのためにも、部活動ではなく地域に移行していき長く続けてもらいたい。</p> <p>教育長</p> <p>日本の部活動の形では、大会終了時に、競技をやめてしまう生徒が多い現状である。</p> <p>高島委員</p> <p>地域に外国籍の子どもたちが多い。外国籍の児童・生徒は今後増えていくことが見込まれるので、学ぶ機会を確保していかないといけないと考えられる。</p> <p>会田職務代理者</p> <p>全国紙で全国の 3%程度が外国籍の方が住んでいて、今後は、10%程度になっていくと予想されている。</p> <p>また、日本人だけでは成り立たず、外国籍にも頼らないといけない産業があるのも事実である。</p> <p>林委員</p> <p>英語での対応が可能なクリニックとして紹介されることもあり、外国籍の子どもが多く来院する。</p> <p>外国籍の幼児の中には、日本社会の生活習慣や作法に不慣れな場合も見受けられる。将来、日本社会を支える一員となることを見据えると、小学校が教育の一環として担う役割は非常に大きいと感じている。</p> <p>高島委員</p> <p>外国籍の人は文化が大きく異なり、良し悪しではなく、異文化を認めあわなければいけない。</p> <p>古沢委員</p> <p>どんな国籍の子どもでも、地域の子どものとして分け隔てなく対応出来たらよいのではないかと考える。</p> <p>会田職務代理者</p> <p>各学校から、日本語指導の要望はあるのか。</p> <p>学校教育課長</p> <p>現場から外国籍児童・生徒が多いとの意見はあるが、来年度から日本語指導員が定数化されるため、少しは負担軽減になるかと思われる。</p> <p>学校教育課長</p>
---	--

<p>小・中学校における学校運営協議会に関する規則の一部を改正する規則</p>	<p>資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>藤沼委員 変更する根拠を伺う。</p> <p>学校教育課長 近隣自治体の状況を鑑みたことと、学校によって異なるが年間で4回程度会議を行う学校が多いため1万円となった。</p> <p>《承認》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p>専決報告第1号 令和7年度幸手市一般会計補正予算(第9号) 専決報告第1号 教育費の要求について</p>	<p>教育部長 資料により説明する。</p> <p>《質疑》 質疑なし</p> <p>《承認》 全員異議なく承認。</p>
<p>日程第4 行政報告 1 教育長報告</p> <p>2 事務局からの 主要な報告</p>	<p>教育長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 各種教育長会議等 2 講演等 3 所管事務調査 <p>教育総務課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 学校再編について <p>学校教育課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 表彰関係 2 幸手市ウィンター教育セミナー「幸手・桜の学びセミナー」特別講演会 3 入学説明会 4 今後の主な行事予定 5 市内中学校・スキー学校の日程 <p>社会教育課長</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和8年幸手市二十歳を祝う会 2 東部地区社会教育関係委員・職員研修会 3 第31回ランチタイムコンサート

	<p>4 市と幸手市PTA連合会との意見交換会</p> <p>5 第41回幸手市企業「人権・同和問題研修会」</p> <p>6 令和7年度第4回幸手市青少年育成推進員協議会会議</p> <p>7 令和7年度第2回幸手市公民館運営審議会</p> <p>社会教育課長（公民館）</p> <p>1 利用状況</p> <p>2 事業報告</p> <p>3 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（郷土資料館）</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（図書館）</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 利用状況</p> <p>3 今後の事業予定</p> <p>4 予約の多い図書（上位5冊）</p> <p>社会教育課長（体育施設）</p> <p>1 利用状況</p> <p>2 自主事業</p> <p>3 今後の自主事業</p> <p>について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>藤沼委員</p> <p>子ども大学幸手の特別事業編が大変好評だったと聞いた。即満員となったと聞いた。</p> <p>会田職務代理者</p> <p>スクールバス運行に関する基準については、数値等大変わかりやすい資料である。保護者にとっては、全員乗せたいという希望があるのではないかと考えるが、他との公平性を考慮して基準を設けたため、一定の納得は得られると感じた。</p> <p>テレビ等で流行になっている図書は閲覧が多いため、たくさんの人に読んでいただけるように上手く広報してほしい。本に親しむきっかけにもなると感じる。</p>
--	--

<p>他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p>令和 8 年 2 月 9 日</p> <p>教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p>署 名 委 員 林 晴 実</p>